

田村松魚 （たむら しょうぎょ） 小説家。明治七年二月四日高知縣生れ、昭和二十二年二月六日歿（二八歳一四四）。本名昌新 （まさとし）。筆名入江新八、松魚散人、松魚生、松魚逸人、船乘新八、魚生、田村松魚子、田村松魚郎、田村眉笑、田村美笑等。幸田露伴の入門。明治二十六年アメリカ留學、四年（二年同門の佐藤とし）（田村俊子）と結婚し、朝報社に勤務。大正七年妻を去られ、のち再婚して骨董店を開く。戦後疎開先の山形縣最上郡安樂城村で死去。

著書『二深物語』（幸田露伴合著、明治二十四年一月七日青木嵩山堂）、『もしり糸一風流微塵藏後篇』（同、明治二十五年一月五日青木嵩山堂）、『若旦那』（明治二十五年四月一日青木嵩山堂）、『花がすみ』（合著・山川直信編、明治二十五年九月十五日青木嵩山堂）、『はろしほ』（内題「初潮」合著・最好會編、明治二十八年十二月一十六日泰山堂）、『北米の花』（明治四十二年九月十二日博文館）、『小佛像』（昭和十七年十一月二十日十一組出版部）等。